

令和7年度 生活指導の基本方針と確認事項 (教員共通理解資料)

八王子市立松木中学校生徒指導部

1. はじめに

校是「自立と協力」に基づき、生徒がすすんで奉仕し、すすんで学びながらより充実した学校生活を送れるよう、「チーム松木」として教職員が一丸となって教育活動に取り組む体制づくりを今年度も行っていきたい。昨年度の成果として、生徒会活動等の生徒の主体的な活動。危機管理の意識を高めるよう、避難訓練等の企画を行いながら生徒指導にあたりたい。

2. 令和7年度 キーワード

◎色々な場面でのコミュニケーションを綿密に行う。

①生徒との日々のコミュニケーション ②教職員間での連携 ③家庭・地域・外部機関との連携

◎「ルール」と「モラル」、指導の理由を明確にする。

なぜそれを行うかの理由を指導者側が明確にし、形・見た目(ルール)のみに捉われず、心の指導(モラル)にあたる

3. 令和7年度の指導の重点目標

①自主的に時間を守って行動できるようにする。

授業開始の時間、登下校の時間等を意識させる必要がある。

②あいさつ、マナー、言葉づかい、身だしなみに気を配れるようにする。

社会性を身に付けさせるため。良いことは良いと認め、間違っていることをきちんと指導する。

③生徒会活動、委員会活動に積極的に取り組ませる。

主体的に活動する場を設ける、他者と協力し、集団をより良くする一員であることを自覚させる。

④危機管理意識を高める。

安全指導・避難訓練等の徹底。

4. 上記目標を達成するために(留意事項等)

●基本的な生活・行動のルールやマナーを身に付けさせる。

- ・場面に応じたあいさつ・言葉づかい、身だしなみを身に付けさせる。
- ・時間を守る意識を醸成する。
- ・話をしっかり聞く態度を身に付けさせる。(授業、集会、学活、放送)
- ・自分の責任を自覚させ、役割を果たす意識をもたせる。

●生徒の自主活動の促進

- ・生徒会活動の推進と学級活動など全場面での協力と援助を行う。
- ・行事への積極的参加を促す。

●環境を整える。

- ・清掃活動場所・仕事を明確にし、責任をもって取り組ませる。
- ・公共物・掲示物を大切にしよう呼びかける。
- ・ユニバーサルデザインを意識した教室環境等を試みる。

〔参考〕 教室環境のユニバーサルデザイン

<https://www.pref.oita.jp/uploaded/attachment/2008210.pdf>

●生徒理解のための対策

- ・生徒とのコミュニケーションをできるだけ多く持ち、交流を図る。

●保護者・地域との協力関係を作る。

- ・保護者会、地域との交流等

●生活指導（情報）記録・共有

- ・学年間の連絡の徹底。問題行動については全職員が把握するよう努める。
- ・時間がない場合などは、各学年の生徒指導部同士で報告をする。
- ・生活指導記録のメモ（記録）をとる。形式にとらわれる必要はないが、「生活指導記録票」があります。お使いください。